

科目名称：	器楽Ⅲ	
担当者名：	水上 和子、上野 高裕	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
「器楽Ⅰ」「器楽Ⅱ」で積み上げたピアノ演奏と歌唱を、保育現場で即実践できるようにする。		
授業の達成目標・到達目標		
ピアノ曲は親しみのあるシンプルな曲を「歩く、走る、スキップ、揺れる等」に変奏した楽曲練習で、身体表現につながる幼児音楽の基礎を学ぶ。また音楽遊びとして、楽しく実践できる曲や、弾き歌いの曲は「生活の歌」や「季節の歌」を数多く練習する。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	○
DP(3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)		90	10		100
幼児教育DP(3)					0
幼児教育DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 金城大学附属西南幼稚園園長代理	《経験年数1》 3年間
	《内容2》 金城大学附属西南幼稚園 園長	《経験年数2》 2年間
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
ピアノ演奏技術	テンポ、リズムが正しくミス無く暗譜で弾くことが出来、子どもの発達に対応できる技能を持っている。	テンポ、リズムが正しくミスがあまり無くほぼ暗譜をして弾くことができる。	テンポ、リズムが少し乱れるが大体楽譜を見て弾くことができる。	練習不足でミスが多いので、曲の途中で止まらないように努力を要する。
弾き歌い技術	発声がしっかりしていて、音程が正しく十分な声量があり、伴奏の技能が高められている。	音程がほぼ正しく十分な声量がある。伴奏が工夫されている。	音程がほぼ正しいが声量がやや少ない。伴奏が工夫されている。	小さい声でも歌える様に努力を要する。
受講態度	授業に向けて良く練習しており、とても積極的に取り組んでいる。	授業に向けてほぼ練習しており、積極的に取り組んでいる。	授業に向けてほぼ練習している。	授業に向けて練習し、態度やことば遣いが出来る様に努力を要する。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 春休み課題の確認	春休み課題の練習	180分
第2回 各グレードのピアノ曲、弾き歌い課題	各自、指示されたピアノ曲、弾き歌いを練習する。	60分
第3回 各グレードのピアノ曲、弾き歌い課題	各自、指示されたピアノ曲、弾き歌いを練習する。	60分
第4回 各グレードのピアノ曲、弾き歌い課題	各自、指示されたピアノ曲、弾き歌いを練習する。	60分
第5回 各グレードのピアノ曲、弾き歌い課題	各自、指示されたピアノ曲、弾き歌いを練習する。	60分
第6回 各グレードのピアノ曲、弾き歌い課題	各自、指示されたピアノ曲、弾き歌いを練習する。	60分
第7回 各グレードのピアノ曲、弾き歌い課題	前半発表のための全曲練習	120分
第8回 前期前半習熟度確認(プレゼンテーション)	前半発表の集中練習	120分
第9回 前期後半のグレードピアノ曲、弾き歌い課題(書き込み確認)	各自、次のグレードのピアノ曲、後半の弾き歌いのコード書き込みと練習。	60分
第10回 各グレードのピアノ曲、弾き歌い課題	各自、指示されたピアノ曲、弾き歌いを練習する。	60分
第11回 各グレードのピアノ曲、弾き歌い課題	各自、指示されたピアノ曲、弾き歌いを練習する。	60分
第12回 各グレードのピアノ曲、弾き歌い課題	各自、指示されたピアノ曲、弾き歌いを練習する。	60分
第13回 各グレードのピアノ曲、弾き歌い課題	各自、指示されたピアノ曲、弾き歌いを練習する。	60分
第14回 前期後半習熟度確認(プレゼンテーション)	後半発表のための全曲練習	120分
第15回 前期授業のフィードバック	苦手な曲や実習に向けて集中練習	120分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
2回の発表で評価 前半習熟度45%、後半習熟度45%、レポート10%

課題に対してのフィードバック

習熟度確認シートを使用し、学生の習熟度をフィードバックする。

教科書・参考書

ピアノ課題、弾き歌い課題冊子。幼児保育の歌とリズム(音楽之友社)